



試食会風景



いよいよ  
加したいと思  
れば、是非参  
加したいと思  
いました。

前日の雨が嘘のよう晴れた、  
五月十七日、六十名弱の出席者で  
始まりました。はじめに学校給食  
についてのお話があり、当日の献  
立の内容についても、説明があり

ました。家庭で指導してほしい事  
柄に、一、手をよく洗う、二、お  
はしを正しく持つ、三、食べ残し  
をしない、四、牛乳を一人一本飲  
むこと。すでに行なつてある事で  
すが、もう一度見直してみたい  
と思いました。また、調理師が少  
ない為、手作

りでは時間内に出来上がりない献  
立の時、よく吟味された冷凍食品  
を使う様でした。  
家で好き嫌いの激しい子供でも、  
学校の給食は、残さず食べている  
ようです。私も楽しみにしていた  
わかつご飯と、サワラミートのベ  
ーコンソースかけ。結構な塩加減  
でとてもおいしく頂きました。サ  
ラダのソースも家で作ってみよう  
かなと思いました。

毎日の昼ご飯は、簡単にすませ  
ている私達主婦にとって、今回の  
ように安くて、おいしくて、  
また皆さんと一緒に食事が  
出来、とても楽しい昼食で  
した。このよ  
うな機会があ  
れば、是非参  
加したいと思  
いました。



編集発行  
羽津北小学校  
PTA広報部  
印刷  
阿竹印刷工業(株)

第 10 号

## 給食試食会アンケート集計結果

参加人数57名、アンケート提出者52名  
解答欄の数字は人数( )内はパーセント

おたずね	おこたえ		おたずね	おこたえ	
1. 本日の給食は総体的にみていかがでしたか	イ. 調理・味付などたいへんよくできていた ロ. よくできていた ハ. 普通	14(27%) 24(46%) 14(27%)	6. 学校給食の意義について、最も適切なもの2つに○をつけてください	イ. 偏食が矯正できる ロ. 栄養のバランスを考えた食事をとることができる ハ. 全児童が同じものを食べることに意義がある 二、弁当をつくる手間が省けて助かる ホ. 経済的負担が軽くて助かる	38(37%) 40(38%) 17(16%) 5( 5%) 4( 4%)
2. 分量について	ご 飯	副 食			
	イ. ちょうどよい ロ. 多すぎる ハ. 少ない 無解答	30(58%) 13(25%) 0( 0%) 9(17%)	イ. ちょうどよい ロ. 多すぎる ハ. 少ない 無解答	38(73%) 2( 4%) 0( 0%) 12(23%)	
3. 納食献立表について	イ. いつもよく見ている ロ. 時々必要に応じて見ている ハ. あまり見ていない	21(40%) 28(54%) 3( 6%)	7. その他のご意見がありましたらお書きください	・大変おいしかった ・副食にもう一品欲しい(カルシウム、つけるもの、スープを含む) ・食品添加物が気になる ・塩味がきつすぎる ・米飯に牛乳は合わない	
4. 米飯給食の回数についてどのくらいが適当だと思いますか	イ. パンと米飯の1日あきくらいがよい ロ. 現在通り週2回でよい ハ. 週1回でよい。	8(15%) 42(81%) 2( 4%)			
5. お宅ではパン食をどのくらいとり入れてみえますか	イ. 1日1食以上パン食をしている ロ. ときどきパンをしている ハ. ごくたまにパン食にする程度 二、パン食はとり入れていない	13(25%) 27(52%) 12(23%) 0( 0%)			

教室の窓から

一組 杉谷 孝子

新入生と呼ばれた子供たちも、この二ヶ月で立派な羽津北小学校の一年生に成長しました。四月四日、担任として始めて三十一名の子供たちと対面しましたが、あの時の子供たちは日に学校という新しい生活に希望と一まつの不安を宿していました。しかし昨日今日の姿からは学校は楽しい所という感じに變つてきています。チヤイシの合図で教室に急いで入る姿は一年生らしく元気いつけです。

「」の子たちは新鮮なんだな、夢がある、未来がある、幸せがある。

わたしには、一年間連續の教室で  
も子供たちには新しい教室です。  
泣きそうになつた友達に、「お前男やろ泣くな、がんばれ。」  
といって元気つけた男の子、整理  
箱をひっくり返した女の子に助け  
の手をさしのべた女の子。  
「ながよし」の四文字を目標に思  
いやりの心をもてる明るい素直な  
一年生に育つてほしいと願つてい  
ます。

教室の窓から見える大空に、す  
くすく伸びる「けやき」の木が、  
この教室で学ぶ三十一名の子らの  
未来の姿であつてほしと願うの  
は担任ひとりだけでしょうか。一

のいい一年生です  
新しい言語セルをもつて

新しいランドセルをもつて  
新しくつで入学して、早や  
二ヶ月たつた子供達の笑顔をご紹介します。



強い心、やわらかい心

三組 櫻井美佐子

入学して二か月。一年生も学校生活によく慣れ、休み時間のチャイムがなるのを待ちどおしいように、校庭へ飛び出して行きます。朝の会でのお話もだのしくできるようになりました。「わたしは、きのううさぎを見ました。」「え?」で見ましたか?」「うさぎを飼つてゐるおばちゃんの家で見ました。」「なにを食べていましたか?」「キヤベツを食べていました。」……このような調子です。

入学当初約束したあまり、「先生やあ友だちのお話を良く聞いて。お友だちと仲良く遊ぼう。」も大部

身について来たようです。姿勢を正して私の話に眼を輝かして聞き入る子。休み時間には顔を寄せ合つて、仲良く絵本を見入る子たちがいます。また、手で物をいじりながらお話を聞く子、足がすぐ上がりつくる子、友だちをたたく子、いじわるをする子もまだ多くいます。根気負けしないで、がんばるつもりです。

これからは、「人にめいわくをかけない子」も含めて行くと、思っています。

集団生活の場で友だちとの遊びを通して、わがままをおさえることを学ばせたり、協力することを体験させたりして、強い心、やさしい心を育てたいと思っています。



卷之二

担任して

一年生を担任して、はや一ヶ月  
がすぎようとしています。高学年  
しか担任したことのない私にとつ  
て、今、未知の世界でした。昨年  
度は、五年生を担任し、今年度は一  
年生。この六年間の子どもたちの  
成長というものが、一年生を担任  
して、いかに大きいものかを強く  
感じました。

子、  
子、 たちへ対応するのに一ヶ  
月かかりました。四月当初は、子  
どもたちがいつしょりけんめいに  
話しかけてくるのですが、なかなか  
かその内容が理解できず、子ども  
たちにかわいそうなことをしたな  
と思います。一ヶ月ほどたつと

子どもたちにも慣れ、それなりに対応ができるようになりました。  
一年生を担任して思うことは、やりがいがある反面、恐ろしさなということがあります。生活面や学習面で様々な細かいことについて指導すると、それが砂の中に水が吸い込まれていくように、吸収されいくのです。一年生で身につけたことが、六年間という小学校生活の基礎になると思うと、責任を強く感じます。

# 子供と共に遊ぼり

## 五年生 学年行事

五年生代表 林 節子

去る五月二十六日、五月晴れの下、羽津北小学校校庭に於て、五年生の学年行事(小運動会)が、行なわれました。始めるまでは何をどの様にやろうかと役員一同迷つていきましたが、いざ始めてみると子供達と一緒にになって親の方も楽しい時間を過ごしました。森一幸君の選手宣誓で始まり、輪廻しリレー、お田さん早く、女子リレー、男子リレー等を、クラス対抗で競い合いました。お田さん早くでは、子供達が、一人三脚で走るのに四苦八苦していた様です。お田さん

の方も、因かくをして子供の誘導で少し不安気ながら、童心に帰つたようでした。一番盛り上ったのは最後のリレーです。親も子も歓声を上げて応援をしていました。そして盛況のうちに終りとな



六月五日、真夏を思わせる日がの中、先生、役員の方々のご協力により、花壇づくり、校庭側溝の清掃、給食室前の階段づくりの各作業が行なわれました。

かたい土を掘り、花壇の周囲を柵板でかこみ、志氏神社で集めた落葉を入れ込み、スコップやフワで耕す作業に、皆さん汗をふきふ



環境部



安全部

りました。特に最後のリレーでは、子供達が全力を出し切ってがんばった事が、心に残りました。

きの大健闘でした。

皆さんのが努力で出来あがつた花壇に、色とりどりの四季の草花が咲き薫る日も近い事でしょう。子供達の心の中にも、"人間愛"と言ふ大輪の花が咲く事を念しながらの一日奉仕でした。

去る五月二十七日、一年生から六年迄各学年单位で、交通安全教室を行ないました。快晴のもとで子供達も真剣に約二時間づつ模擬道路を歩き回り、先生方の指示に従い、踏切の通り方、信号付横断歩道、信号の無い横断、一般道路の歩行等本部役員、安全委員の方々の指導を受けました。全般的に強く感じた事は、スピード一的な横断を心掛けるよう、御家庭でも御指導を、御願いします。

## 安全確認よし!!

## PTA 親睦

### ソフトボール大会開催

去る六月四日(土)午後一時より本校校庭に於いて、PTA親睦ソフトボール大会が、行なわれました。

先生方及び父兄、五十余名の参加のもとに、日頃の運動不足を解消するかの様に、砂ぼこりを上げての、楽しいひと時でした。

皆様、これからも、PTA行事には、是非、多数の御参加を。

### 保健体育部

## 編集後記

広報部から「けやき」第十号をお届けします。編集に当たる各部・各先生方から多数の記事をお寄せ頂きましたがどうぞごめんなさい。次号は七月十九日頃発行する予定です。これからも広報部一同、一生懸命がんばりますので「けやき」に対するご意見を、お寄せ下さいます様お願いします。

